



自分のまちが好きになる アニメーターと行く、 御畳瀬でロケハン！【5】

◆ 作品の仕上げの回！



小雨が降り少し肌寒い中、第5回目の授業が始まりました。今回、吉富先生は現地で参加です。

授業は、第6回の成果発表会に向けた仕上げの回として、受講生がこれまでの授業を通して気付いたことや感想などの作文づくりと、作品のパネル展示作業です。

高知県立大学の学生とこうちみませ楽舎プレミアムクラスの受講生も、見学に来てくれました。

◆ 作品集の仕上げに向けて

この教室では、受講生の作品を作品集として発表します。それぞれの作品はA4サイズ2ページに掲載され、片面に作品（撮った写真と注釈）、もう片面に撮影場所と作文が載ります。マミオ先生から作品集のサンプルを見せてもらった受講生たちは、「こんな風になるがや！」とニコニコです。

授業の前半では、たっぷり時間をかけて作文を考えていきます。作品を見た人に自分の思いが伝わるように、ロケハンをする前と後でどのように街の見方が変わったのか？や、自分の作品に対する思いなど、より細かく自分たちの発見や思いが伝わるように書き出します。自分の思いを言葉にするにはなかなか難しいもの。協力隊や職員もいろいろお話を聞いたり質問させていただき、徐々に言葉が紡がれていきました。出来上がった文章は、しっかりと自分らしく、それでいて分かりやすく書かれており、受講生たちの成長にマミオ先生や吉富先生も驚かされていました。



◆ 作品の原本はパネル展示に



授業の後半は、作品のパネル展示作業です。大きな地図を貼り、その周りに作品を貼り付けて完成です。展示するパネルは、受講生の1人とマミオ先生が材料を調達して制作したもので、自立する優れたもの。「すごい！」「よく考えられてる！」と感嘆の声が聞こえてきました。

まずは、模造紙をパネルのサイズに貼り合わせていきます。あまりの大きさにスタッフや見学の方たちもお手伝い。紙が折れてしわにならないように、お互いに声を掛け合いながら協力して完成させました。

これに貼る地図の制作がまた大変！A3サイズの地図を切って貼り合わせる、緊張の作業です。手先の器用な受講生が担当し、なんとか無事にひとつの大きな地図が出来上がりました。

絵が得意な2人は、タイトル制作を担当。「最初の一筆が緊張する！」「失敗したらどうしよう」など2人で相談しながらかわいく作っていました。

大きな模造紙に、地図、作品、タイトルを貼って、パネル展示作品のできあがり！完成した展示作品と作品集で次回の成果発表会に挑みます。



◆ 次回、成果発表会に向けて



これまでの教室を通して、受講生たちは「街の違った見方」ができるようになり、たくさんの「魅力」や「好き」を見つけられるようになりました。この教室が終了しても、自分の街でもたくさんの「好き」を見つけてください。そしてそんな自分もどんどん「好き」になって欲しいです。

次回は成果発表会。どんなすばらしい作品となったのか、どんな発表が聞けるのか、とても楽しみです。